

こんにちは 日本共産党県議団です

党県議団が知事へ申し入れ

米の品薄緊急対策を

日本共産党長野県議団は、9月議会に向け、知事に生活困窮者への食料配布の拡充、米の品薄での緊急対策などを要望しました。副知事ら12人が対応しました。申し入れは▽信州こどもカフェ、フードバンクなどへの支援拡充と食料配布体制の拡大▽米の品薄、価格高騰に対し、国の備蓄米活用と県としての緊急対策▽医療機関の新型コロナ対応で、必要な資材提供やかかりまし経費の補てんなど国に公的支援を求め、県としても独自に対策すること▽リニア中央新幹線工事で繰り返される

事故の再発防止。「要対策土」の使用計画では県として住民の不安や要望を受けとめJR東海に伝えるとともに、県の環境影響評価技術委員会で検討すること—などの8項目です。

党県議団長は「残暑が続き、物価高で県民の生活は苦境に追いやられている。自分事としての真剣な対応を」と求めました。米の品薄については「新米が出てくるといっても生産が消費に追いついていない。価格高騰も深刻で、さまざまな手だてが必要」と強調しました。



県庁特別会議室（9月12日）

総務企画警察委員会

毛利栄子議員

岡谷ジャンクションのリニューアル工事で、慢性的な渋滞が起これり事故が多発しているため、対策の強化を求めました。警察ではネクスコ中日本と協力し、車線規制や速度規制で対応し、サインカー配置や情報看板・ツイッターなどでも注意を促し、警戒活動や交通取り締まりの強化を図っているとのことでした。また、県警の職員公益通報制度についても質問し、県民に信頼される警察行政を行うため、第三者機関の設置が必要と求めました。



産業観光企業委員会

和田明子議員

観光振興税（仮称）について、県民説明会を開催するというが、北信・東信・中信・南信の4会場で平日の昼間という日時の設定・回数とも不十分で11月議会に条例案の提出では、まさに結論ありき、拙速。宿泊関係団体からは、定額制ではなく定率制の検討を求められていることなど問題や課題を質問。税制の改革は民主主義の根幹に関わる問題であり、最も民意を尊重すべき課題と指摘。県民への周知、導入の是非の世論調査など求めました。



農政林務委員会

両角友成議員

米不足の問題を取り上げ、国内の米の消費は700万トンを超えているのに、生産は600万トン後半で、これではまた同じことが起きてしまうと指摘。値崩れを防ぐためとの生産調整（減反）をやめ、農家に対し価格保証・所得補償をし、生産基盤を整えるときと主張しました。答弁では、米をはじめとする主要穀物の生産安定が非常に重要。長野県が全国に誇る農産物の総合供給産地として今後も農業振興を図っていききたいとのことでした。



環境文教委員会

山口典久議員

中学校部活動の地域クラブ活動への移行について、成績やレベル向上とともに、部活動を楽しみたいなどの選択肢の確保、会費や送迎の負担などいただきました。教育委員会は「現在取り組んでいる実証事業でも、体験型、交流型に取り組んでいるところもある。会費は市町村に行ったアンケートでは集めないところから5千円まで様々」と答弁。今後財政支援の研究をするとしていますが、生徒・保護者に広く意見を求めるよう要望しました。



県民文化健康福祉委員会

藤岡義英議員

消費者センターの集約化について、現場で連携してきた消費者の会への丁寧な対応を求めました。また介護事業の危機について、訪問介護報酬を元に戻し、削減されてきた介護報酬を底上げする必要性を主張。生活保護については、基準引き下げ取り消し訴訟への所見や、制度周知の対応、長野県・特に郡部における利用率の低さについて追及。県立こども病院の病棟の老朽化問題、パーキングパーミット制度の検証についてもいただきました。



日本共産党県議会報告

No 6 2024年11月 【2024年9月定例議会報告】

ご意見・ご要望をお寄せください。

発行／日本共産党長野県議団 〒380-8570 長野市南長野幅下692-2 長野県議会日本共産党控室
TEL 026-237-6266（直通） FAX 026-237-6322
E-mail jcpngnkd@avis.ne.jp ホームページ <http://www.jcpnagano-kengi.jp/>

